

節目に一言

古希を迎えて

下間 哲

(昭和42年電気科卒)



投稿作成依頼があったときは、驚いた!! 「ななじゅうか！」、私の仕事は定年がないので、まるで実感がない。プロの演奏家になってすでに44年になる。

初めての楽器は、S37年男鹿・脇本中学でプラスバンド創設時のメンバーになり、トロンボーン(Tb)(民謡好きの父の勧めが大きかった)を吹いたのが始まりである。

S39年秋田工業電気科に入学し、プラスバンドでTbを続けた。プラスバンドに入部して、その夏にはいきなり甲子園に応援で参加した。甲子園でのプラスバンド応援は、いまでも強烈な印象がある。秋田から臨時の夜行列車で大阪へ行った。初戦は高知高校との対戦だったが、演奏に夢中で試合内容はよく覚えてない。応援の曲はタイガーラグ(デキシーランドジャズの名曲)をチャンスのときは必ずやった。アルブスタンドはとても暑くて、名物のかち割りを買った。あっという間に試合は終わり、1対4で敗れた。

中高6年間は、プラスバンド活動などで楽しんだ。

秋田工業を卒業後、S42年川崎の電気機器メーカーに就職した。会社ではカラーTVの部門で働いた。

会社では、軽音楽クラブのスwinging band(6人編成)に入った。Tbを買うお金がなく、ボーナスが出るまでの半年間と思いTbを買うまでの間にクラブにあったTp(トランペット)を練習した。ところが、初めてのボーナスでTbを買うつもりが、Tpを買ってしまった。会社の寮が多摩川の近くだったので、土手へ行ってよく練習した。

S48年に退社して、プロの演奏家になった。蒲田・川崎・横浜・

宝石・貴金属 専門店



伊藤貴金属店

TEL 018-862-2761
FAX 018-864-8612

代表取締役 赤塚 京二 (昭和40年土木科卒)

渋谷・赤坂・秋田などのキャバレー やクラブなどで仕事をした。

S51年、新宿のクラブでやっている時、当時デキシー界のスター プレイヤーだったデキシージャイブのリーダーの有馬靖彦氏(クラリネット)に声をかけられ入団した。以来デキシーにはまり今に至り、もう41年なる。

リーダーの有馬靖彦氏はH29年2月に傘寿になられて、そのお祝いをした。彼は日本のデキシーバンドのリーダーの中で最年長者で、今日の私があるのはこの人のおかげである。



大好きなデキシーランドジャズについて一言。

デキシーランドジャズは、古いジャズの分野で、120年位の歴史がある。ちなみに今年はアメリカで初めジャズが録音されて丁度100年の節目にあたる。

Tp(トランペット). Cl(クラリネット). Tb(トロンボーン). Bj(バンジョー)またはピアノ. Tu(チューバ)または弦バス. Dr(ドラム)の6人編成が標準的だ。

違う楽器6人が各々の役割をもって、一つの曲を創り上げていく。すべての楽器は生(ナマ)演奏で、場所も選ばないし、決まりの部分と即興(アドリブ)のところなど融通無碍に進めていく。実に奥の深い音楽で、各個人の楽器の演奏技術、音楽知識、協調性、独創性など必要なのは言うまでもないが、ジャズ演奏家にとって究極のスタイルではないかと思っている。

現在の仕事はデキシージャイブの他に 自己のバンド「哲樂団」と、他グループとのジョイント、ライブハウス、老人保健施設などの様々なところで活動している。

これまで収録したのは、LP8枚・CD25枚以上になる。ちなみに2010年3月にピアノとトランペットのDuoのCD、「スターダスト」を発表した。

内容はジャズのスタンダードの他に、秋田にゆかりの深い曲である、成田為三作曲の“浜辺の歌” “秋田県民歌” 民謡で“秋田長持ち歌” “秋田草刈歌”を収録した。

CD “スターダスト”



あるがままに、「おだやかに」、「ゆったりと」、今後も健康第一に歳相応の演奏をしていきたいと思っている。

